

多世代交流事例

- ・多摩の居場所ふらっと（多摩区）

多摩区まちづくり協議会のプロジェクトのひとつで、「世代間の交流ができるコミュニティセンターをつくろうプロジェクト」という活動がはじまり、毎月第4土曜日に街の中でホットできるところ、誰でもが自由に立ち寄れる場「多摩の居場所ふらっと」をオープンしました。また、月1回「コミュニティサロン」を開催、サロンの情報を広報紙「COSMOS」を発行して発信、年3回車座勉強会を開催し地域を学ぶ活動をしています。

- ・小倉の駅舎陽だまり（幸区）

<http://www.kawasaki-shakyo.jp/saiwai/12000/>

幸区小倉に、本会第2期地域福祉活動計画の新規事業のモデル地区として、住民交流活動拠点を開設しました。名称は一般公募により小倉の駅舎「陽だまり」と決まり、誰もが気軽に利用し、活動しながら、出会い・ふれあい・支えあい・学びあう、集いの場として、乳幼児から90歳代の方まで、世代を超えた多くの地域の方々に利用していただいております。

- ・赤ちゃん銭湯でコンニチワ（幸区）

日赤奉仕団が区内の銭湯で、赤ちゃんを連れてお母さんが子どもを預けてゆつくり入浴できるような場づくりを支援。

- ・もみじ台の地域の大広間（札幌市）

多世代交流を目的とした交流イベントの事例です。少子高齢化の進む郊外住宅地で、世代交流と各種団体の連携のきっかけづくりを目的として開催しています。

- ・石山地域食堂（札幌市）

いしやま地域食堂運営委員会が、倉庫を改造し、高齢者や子育て中の母親などが気軽に利用でき、地域交流の場となることを目的とした「いしやま地域食堂」を開店しました。

- ・むくどりホーム（札幌市）

「障がいのある人もない人も赤ちゃんからお年寄りの人まで、みんなで交流しましょう」「お互いに違いをみとめあい、理解しあいましょう」をテーマにむくどりホームでは、わらべうた、アロマでリラックス、点字、話し合いの会、読み聞かせなど様々な活動をしています。